

—諸人のここに学びて— 校長室から見える風景(11)

1学期終業式を迎えて ～思いを言葉にする～

7月22日、1学期の終業式を迎えます。一日一日は長いようでも、振り返ればあっという間だったような印象です。さまざまな活動に取り組む生徒を近くで見て、改めて一生懸命になること、努力することの大切さを学んだ気がします。間違いなく豊高生の素晴らしいところです。

終業式式辞では、1学期を振り返ってみたいと思っています。今この年になると(急にこんなことを書き出すのも何ですが・・・)大事なことで、結局変わらないと思うようになりました。これまで、お世話になった学校でも式辞やあいさつでかなり悩んだのですが、結局言葉は違っても伝えたいことに変わりはないということです。

1学期の始業式、入学式で伝えたことが3つあります。これを振り返っていきます。

- (1) 学校生活を楽しむこと
- (2) 日々学びであること
- (3) 自分を大切にすること

まずは、学校生活で「ワクワクする」「心が躍る」ことがあってほしい。それは、何かのきっかけであったり、出会いになります。毎日、授業での学びのほかに部活動や行事での経験、その中から「人との関わり」「社会こと」「進路のこと」など、知ることや学ぶことはたくさんあります。今やっていることにムダなことはありません。そして、自分を大切にすること。生徒はもちろん、どんな人も大事な存在です。高校生の時は特に「自分なんて・・・」と思うことがあるかもしれませんが、あなたの可能性はまだまだあるしあなたの良さはあなただけの財産です。楽しみ学ぶために自分自身を大切にしていきたいものです。

夏休み、まずは健康で安全に過ごしてください。そして、ふだんは気にとめないかもしれない社会や世界の出来事に目を向けてもらいたいと思います。保護者のみなさま、地域のみなさま、今学期大変お世話になりました。引き続きよろしくお願い申し上げます。



(左)7月16日STEAMⅡ特別授業 (右)6月19日大阪関西万博 3年生